



びわ湖芸術文化財団・舞台芸術情報誌

Contents

〈びわ湖リング〉第3弾『ジークフリート』……………P2
 リレーエッセイ「Road to Biwako-Ring」特別編… P3
 林 光 作曲 オペラ『森は生きている』…………… P4・5
 大人も子どもも楽しめる公演…………… P6・7
 近江の春 びわ湖クラシック音楽祭2019 …… P8
 びわ湖ホールインフォメーション…………… P9
 えいじゃに・滋賀県立文化産業交流会館より …… P10・11
 劇場・舞台芸術の力 …… P12



オペラ『森は生きている』2012年公演より



ジークフリート Siegfried

4年をかけて新制作・上演する<びわ湖リング>第3弾!

ワーグナーが26年の歳月をかけて完成させた一大叙事詩《ニーベルングの指環》。びわ湖ホールでは2017年から毎年1作ずつ4年をかけて全作を新制作・上演しています。第3弾はいよいよ英雄ジークフリートが登場。作品の魅力解説する講座や関連企画にもご注目ください。

『ワルキューレ』から『ジークフリート』へ

《ニーベルングの指環》は<序夜と3日間のための舞台祝典劇>と書かれ、四つの作品で構成されます。序夜『ラインの黄金』、1日目『ワルキューレ』のあとに続く2日目『ジークフリート』は実質3番目の物語。双子の兄ジークムントの子を身籠ったジーククリンデは伝説の剣ノットウングの破片を抱え森に逃げ込みます。ミーメに助けられたジーククリンデは子を産み、息絶えたところからこの物語は始まります。その子どもこそが、英雄ジークフリートなのです。

2019年
3月2日(土)・3日(日)

両日とも14:00開演 大ホール

好評につきチケット予定販売数を終了しました。
※追加発売の場合はホームページ等でお知らせします。

指揮:沼尻竜典(びわ湖ホール芸術監督)
演出:ミヒャエル・ハンベ
美術・衣裳:ヘニング・フォン・ギールケ
管弦楽:京都市交響楽団

| (キャスト) | 2日(土) | 3日(日) |
|---------|--------------|--------------|
| ジークフリート | クリスティアン・フランツ | クリスティアン・フォイト |
| ミーメ | トルステン・ホフマン | 高橋 淳 |
| さすらい人 | 青山 貴 | ユルゲン・リン |
| アルベリヒ | 町 英和 | 大山大輔 |
| ファフナー | 伊藤貴之 | 斉木健詞 |
| エルダ | 竹本節子 | 八木寿子 |
| ブリュンヒルデ | 池田香織 | ステファニー・ミュター |
| 森の小鳥 | 吉川日奈子(両日) | |

TOPICS



びわ湖指環(リング)寄付を募っています

びわ湖ホールでは、《ニーベルングの指環》の新制作にあたり、作品へのご支援をお願いしています。30万円以上のご寄付をいただいた方には、美術・衣裳プランナーであるヘニング・フォン・ギールケがひとつひとつ手作りした「指環(リング)」を贈呈いたします。※手作りのため1個ずつ形や大きさが異なります。特別限定品のため数に限りがあります。お申し込み・お問い合わせ びわ湖ホール広報マーケティング部 TEL.077-523-7140

より深く楽しむために 関連企画

初級編 オペラ講座 『ジークフリート』(全2回)

オペラ初心者にも分かりやすい内容で、『ジークフリート』を存分に予習していただける講座です。

【第1回】2018年12月22日(土)
『ジークフリート』のあらすじと音楽
恐れを知らぬ英雄ジークフリート、ついに黄金の指環を奪回! 雄渾大なワーグナーの音楽、そのライトモチーフの楽しみを探る。

【第2回】2019年1月27日(日)
映像で比較する『ジークフリート』のさまざまな演出
ジークフリートの大蛇退治など、スペクタクルな場面の連続! 同じシーンでも、演出によってこれだけ変わる面白さ。

各回とも14:30開講
【コラボしが21 3階大会議室】
講師:東条碩夫(音楽評論家)
全2回通し券2,000円
1回券(当日のみ)1,500円 [自由席]



演奏とともに プレートク・マチネ

作曲家や作品の背景を中心にわかりやすく解説し、歌手による演奏も交え、聴きどころや見どころを紹介します。

2018年12月29日(土)
13:00~15:00 [小ホール]
出演:沼尻竜典
岡田暁生(京都大学教授)
藤野一夫(神戸大学教授) ほか
参加費:無料 ※事前申込み不要



上級編 ワーグナー・ゼミナール (全3回)

ワーグナー研究の第一人者である講師を迎え、専門家ならではの視点を交えて『ジークフリート』について解説していきます。一歩踏み込んだ深い内容でお贈りします。

【第1回】2019年2月2日(土)
《ジークフリート》の音響世界
音色一響き一響きドラマツルギー
講師:岡田安樹浩(国立音楽大学講師/音楽学)

【第2回】2019年2月17日(日)
作品成立事情とテキスト解説
講師:伊東史明(大谷大学講師/ドイツ文学)

【第3回】2019年2月23日(土)
作品の全体像とその思想的背景
講師:藤野一夫(神戸大学教授/音楽学・文化政策)

各回とも14:00開講
【第1回リハーサル室、第2回・3回 コラボしが21 3階大会議室】
全3回通し券3,000円
1回券(当日のみ)1,500円 [自由席]



本番直前! オペラ・ワークショップ

本番を間近に控えた会場で、舞台装置をご覧いただきながら、演出家等がお話します。

2019年3月3日(日)10:10~ [大ホール]
出演:ミヒャエル・ハンベ(演出家) ほか
参加費:1,000円(『ジークフリート』公演チケット提示の方は無料)
※事前申込み不要



“びわ湖リング”をより深く楽しむためのリレーエッセイ
“Road to Biwako-Ring”です。

ワーグナーの作品は我々への挑戦状です

美術・衣裳:ヘニング・フォン・ギールケ

『ラインの黄金』『ワルキューレ』を振り返って

ワーグナーの作品は、我々に挑戦状を突きつけています。実現するのが非常に難しい。例えば、竜と戦っている状態、空を駆けるワルキューレたち、炎に包まれた岩山。リング四部作をやることは非常に大きな挑戦ですけれども、壮大な作品の舞台美術を作ることは“幸せな挑戦”であり、画家として嬉しい限りです。

基本的なアイデアは、舞台の前と奥のプロジェクションマッピングと舞台装置という3つの要素から舞台を作っていくことです。『ラインの黄金』の第1場はその3つの要素から成り立っています。ラインの乙女たちは舞台上で姿を現すこともあれば、プロジェクションとして姿を見せることもあります。

もうひとつ、大事なものは音楽です。私は画家ですので、音楽を聴くことでさまざまな絵が頭の中に浮かんできます。その絵を3つの要素で実現していくのです。

我々は見たこともない世界を舞台で見せられていると思います。演出家のハンベさんと私の役割は、舞台上の視覚的なものを、間違った方向に行かないように見極めることです。



ヘニング・フォン・ギールケ

びわ湖ホールについて

びわ湖ホールには、ミュンヘンのバイエル国立歌劇場と同レベルの技術的な可能性があると思います。ただ、外国を含めて考えると、びわ湖ホールはまだそれほどオペラを上演する場所として知られていないように思います。そういう意味で我々は先駆者として仕事をしていると感じています。頭に浮かんだ絵を大きい形で実現できること、びわ湖ホール側もそれをサポートしていただけることをうれしく思っています。

海外の有名な評論家の方が毎年観に来て、世界的に有名なオペラ雑誌で記事を書いてくださっています。そうすると、あるとき急に郵便受けに「ヘニングおめでとう! いい仕事をしたね」というメッセージが届く。そういう意味で我々がびわ湖ホールで行っていることは、びわ湖だけではなく、ヨーロッパでも認識されていて、効果があると思っています。



2018年9月びわ湖ホールにて打ち合わせ
写真右は演出家ミヒャエル・ハンベ

《指環》四部作の魅力は

ワーグナーは、四部作の合計が16時間という長時間の作品で、音楽とテキストを融合させて、他にはないものを作りました。これは今まで自分が関わってきたオペラと比べ物にならない大変な作品。でも挑戦する楽しみがある。それがこの四部作の魅力です。

またオペラの歴史の中で、これこそが人間ドラマだといえる作品です。愛、憎しみ、権力、欲望…、様々な感情が作品となっています。自分たちの心の底にある感情もそこに含まれています。私も画家として人間のもろもろの感情を扱っていますが、やはりワーグナーが作った四部作は、唯一無二です。

『ジークフリート』に向けて

『ジークフリート』は四部作の中で、一番知られていないと思います。ただ、その中で起こることは、人間の尊厳まで掘り下げて描かれています。

『ラインの黄金』、『ワルキューレ』を通して生まれた“人々を繋ぐ結び目”が『ジークフリート』の最後で形として現れるわけですね。もしリングがこの作品で終わっていたならば、それは人間の救済になっていたかもしれない。

ただし、残念ながら『神々の黄昏』に続いていくわけです。ひとりで言うと、『神々の黄昏』では人間の行きつくところ、つまり、滅亡していく姿が描かれます。ワーグナーは小さい存在である人間に対して自然が勝利をする姿を見せていくのです。

(2018年9月インタビュー)



2017年3月『ラインの黄金』より



2018年3月『ワルキューレ』より

Profile ヘニング・フォン・ギールケ

1947年生まれ。ドイツ国内外で60回以上の個展を開き、1970年頃から広く人々に知られている。ヨーロッパをはじめアメリカや日本で、画家、映画のセットや舞台装置・衣裳の創作者、演出家として、数多くの映画、演劇、オペラの制作に関わる。作品は、個人所有と公の所蔵のものがあり、コブレンツのルートヴィヒ美術館、パイロイトのリヒャルト・ワーグナー美術館などに所蔵されている。2005年よりウィーン大学で教鞭を執っている。ドイツ映画アカデミー会員。ミュンヘン在住。

本オペラの本は生きている

林 光 作曲

びわ湖ホール オペラへの招待

(室内オーケストラ版 / 日本語上演・日本語字幕付)



『森は生きている』2012年 びわ湖ホール公演より

「時」を越えた奇跡の物語!

美しい音楽と台詞で紡がれる心温まる物語『森は生きている』。ロシアの児童文学作家マルシャークの名作を原作に、林 光が日本語のテキストに作曲した作品です。作曲家・林 光の薫陶を受けた寺嶋陸也の指揮とピアノでお贈りします。さらに、2016年～2018年の県内公演に出演した合唱団の皆さんも出演します。

2019年
1月19日(土)・20日(日)

両日とも14:00開演 中ホール

一般 5,000(4,500)円 青少年(25歳未満) 2,000円
シアターメイツ 1,000円 [全席指定・税込]

※()内は友の会会員料金

『森は生きている』を兵庫でも上演します!

日本オペラプロジェクト2018 林 光 作曲 森は生きている (日本語上演・日本語字幕付)

■2019年3月23日(土)・24日(日) 両日とも14時開演

■兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

指揮:ピアノ:寺嶋陸也 演出:中村敬一 出演:びわ湖ホール声楽アンサンブル 管弦楽:兵庫芸術文化センター管弦楽団メンバー

●お問い合わせ:芸術文化センターチケットオフィス ●Tel.0798-68-0255(10:00~17:00 月曜休み、祝日の場合は翌日)

びわ湖ホール×『森は生きている』の歩み

青少年オペラ劇場で2000年に初演

〈オペラへの招待〉シリーズの前身である〈青少年オペラ劇場〉シリーズとして2000年に上演。それ以来、人気作品として、2003年・2007年・2009年・2012年と再演を重ねてきました。今回は6年ぶりの上演となります。びわ湖ホールがずっと大切にしてきたパートナーです。



『森は生きている』2012年 びわ湖ホール公演より

2016年度より3か年県内全域プロジェクトを始動

〈びわ湖ホール声楽アンサンブル みんなで作ろう! 林 光作曲 オペラ『森は生きている』〉を立ち上げ、2016年度から3年をかけて県内全域を巡演してきました。2時間強の作品を1時間程度に短縮し、各地では合唱や小道具製作など様々な形で地域の方々に参加いただきました。



重要な小道具「マツユキ草」作りに参加していただきました。



広報物デザインは滋賀県内の成安造形大学と連携して製作。



各地域の合唱団や学生が本番に向けて稽古を積み重ねました。



本番の舞台では、地域の方々の歌声とともに物語が展開します。



キャストたちが揃ってお見送りを行い、お客様とふれ合いました。

びわ湖ホール声楽アンサンブル・メンバーよりメッセージ

川野貴之(テノール)

『森は生きている』は入団して2年目に関わったオペラで、私が演じる役は4月は当時のテノールの先輩が演じており、強く印象に残っています。4月はむすめの「生きたい」と願う強い想いを自然の掟を変えてまで叶えます。それはむすめへの特別な感情がなくては出来ない行動。稽古の中でその感情を歌とセリフで演じ伝えることの難しさを感じています。メンバーとしてこれが最後のオペラ、誠心誠意向き合っていますので、どうぞ聴きにいらしてください。



飯嶋幸子(ソプラノ)

このオペラのタイトルロール(主役)は「森」そのものです。むすめの目に映るものを通して、自然の厳しさ、恵み、生の輝きなど、現代では当たり前を通り過ぎてしまいがちな事を今一度思い出させてくれる、あたたかいオペラです。私は在籍5年目の最終年度で、『森は生きている』はメンバーとして最後のオペラになります。5年間沢山の舞台で学んできた全てをかけて稽古に臨んでいます。素敵な舞台に仕上がってきていますので是非ご来場ください!



内山建人(バス)

僕の演じる博士は、ワガママな年若い女王に手を焼いています。一国の女王が生徒なので、間違いを正すと反逆罪になるというジレンマに苦しんでいます。杓子定規なことを言いますがどこか憎めない性格で、女王の成長を一番近くで見守ります。このオペラは「生きる」ということについての示唆に富んだ作品だと思います。いつの間にか深い意味を考えさせられるシーンがたくさんあります。輝く生命の燃える炎を感じにいらしてください。お待ちしております!



溝越美詩(アルト)

12の月という個性豊かな精たちが存在する森の自然の厳しさや優しさ、そして宮殿のヘンテコな人間たち。それをこのオペラは見事に表現しています。時には稽古中に感動してしまい目に涙が…。私の演じる2月は頑固で厳しい…でもいい人だと思います。廷臣も面白いシーンが沢山あります。一見子ども向けに感じられるかもしれませんが、どなたでも楽しんでいただくととても素敵な作品です。是非ご家族や大切な人と見にいらしてくださいね!



宮城島 康(バス)

歌手12人のひとり一人が、2役から5役までキャラクターを演じ分けなくてはいけない…なんてやりがいのある作品でしょう(笑)。作品の中にあるメッセージもさることながら、演者として大切なことを思い出したり、学ばせられたり、時に新しい自分に出会います。どれも本当に嬉しい事です。「オペラ」と聞いて、取っ掛かりにくいと思っている方も多いでしょう。でも安心してください。歌いながら楽しくメロディと、美しいドラマ、そして何より日本語でお届けします!会場でお待ちしております!

こちらの公演もお聴き逃しなく

2月に行うびわ湖ホール声楽アンサンブルの定期公演と東京公演。本山秀毅の解説と声楽アンサンブルの演奏によって、パッパのカンタータが身近な音楽に変貌します。

バロック声楽作品の精華

びわ湖ホール声楽アンサンブル第68回定期公演
2月9日(土) 14:00開演 小ホール
一般3,000円 青少年(25歳未満)1,500円

びわ湖ホール声楽アンサンブル東京公演vol.10
2月11日(月・祝) 14:00開演
東京文化会館小ホール
一般4,000(3,500)円 青少年(25歳未満)2,500円

※()内は友の会会員料金
指揮:本山秀毅(びわ湖ホール声楽アンサンブル桂冠指揮者)
管弦楽:ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団
[曲目]
J.S.バッハ:カンタータ第70番「目を覚まして祈れ、祈りて目を覚ませ」(解説付)
ヘンデル:主は言われた HWV232
ヴィヴァルディ:グローリア ニ長調 RV589

※ あらすじ ※

ある国のおおみそか。むすめは、わがままな女王が気まぐれにだした“おふれ”のために、冬に咲くはずのないマツユキ草を探しに雪深い森へ出かけます。そこで出会ったのは12の月の精たち。心優しいそのむすめのために4月の精は、ほかの月の精たちに頼んで1時間だけ「時」をゆずってもらいます。すると雪は消え、目の前にはたくさんのマツユキ草が…! マツユキ草を手に入れたむすめは、12の月の精の秘密を誰にも話さないと約束し、4月の精に指輪をもらい帰ります。そしてマツユキ草を渡された女王は、廷臣たちが引きとめるのにもかわからず、自らもマツユキ草を摘むために、むすめの指輪を持って吹雪の森へと出ていきます。そこで冬の森の厳しい寒さや大変な経験を経て、女王は大切なことを学ぶのでした。



演出・中村敬一より

メッセージ

びわ湖ホールで繰り返し上演されてきた『森は生きている』。3年間の県内巡回公演を経て熟成し、改めて皆さんの前にお届けします。この作品とともに育った声楽アンサンブルのメンバーたちもたくさんいます。そして、この作品を通してたくさんのお客様の皆さんとも出会ってきました。演出家の僕にとっても大好きな大切な作品のひとつです。子どもにも、そして大人にも観ていただきたい作品。大晦日の晩に一人の少女が森の中で出会った不思議な出来事。生きること、死、友情。林 光さんの心に響く音楽とともに、お楽しみください。



photo: Keiichi KIMURA

キャスト

びわ湖ホール 声楽アンサンブル

※びわ湖ホール声楽アンサンブル ソロ登録メンバー

1月/総理大臣



宮城島 康

2月/廷臣



溝越美詩

3月/リス・オオカミ・廷臣



吉川秋穂

4月/カラス・警護隊長



島影聖人*(19日)



川野貴之(20日)

5月/ウサギ・もう一人の兵士・大使夫人・廷臣



藤村江李奈

6月/もう一人の娘・リス・廷臣



船越亜弥

7月/むすめ・廷臣



飯嶋幸子(19日)



黒田恵美*(20日)

8月/女官長・オオカミ



熊谷綾乃

9月/おっ母さん・廷臣



益田早織

10月/女王



山際さみ佳(19日)

11月/兵士



栗原未和*(20日)

12月/博士・古老



鷲谷明夫(19日)

12月/博士・古老



坂東達也(20日)

12月/博士・古老



内山建人(19日)

12月/博士・古老



五島真澄(20日)

みんなおいで！子どもも楽しめる公演

華やかなオペラの名曲をお届け！

子どものための管弦楽教室 第15回 オーケストラが彩るオペラの世界

オーケストラ入門にぴったりのコンサート。どこかで聴いたことのある曲や、子どもたちに聴いてほしい名曲をフルオーケストラ演奏でお届けします。今回はオペラ歌手として活躍中の3人のソリストとともにオペラの名曲をお届け。聴きなじみのある曲を、会場を圧倒する歌声とオーケストラでお楽しみください。大人の方にも十分満足いただける内容です！



指揮者体験 コーナー

大人気のコーナー。若干名の方に舞台上で「指揮者」を体験していただきます。今回は「カルメン」前奏曲を指揮していただきます(写真は昨年度の様子)。



2019年3月24日(日)
14:00開演 [大ホール]

指揮：飯守泰次郎 管弦楽：関西フィルハーモニー管弦楽団
ソプラノ：基村昌代* テノール：二塚直紀* バリトン：的場正剛*
*びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー
大人2,000円 子ども(4歳~中学生)1,000円

指揮者：飯守泰次郎

日本屈指の名指揮者。ヨーロッパで研鑽を積み、国内オーケストラの主要ポストを歴任、新国立劇場オペラ部門芸術監督を務め、紫綬褒章や文化功労者にも選ばれています。

【プログラム】

- ロッシーニ：歌劇『ウィリアム・テル』序曲より「スイス軍の行進」
- プッチーニ：歌劇『蝶々夫人』より「ある晴れた日に」(独唱：基村昌代)
- レオンカヴァッロ：歌劇『道化師』より「衣裳をつけろ」(独唱：二塚直紀)
- レハール：『メリー・ウィドウ』より「唇は黙して」(ソプラノ：基村昌代、ダニエル・の場正剛)
- プッチーニ：歌劇『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」(独唱：二塚直紀)
- ビゼー：歌劇『カルメン』より「前奏曲」<指揮者体験コーナー>
- ビゼー：歌劇『カルメン』より「闘牛士の歌」(独唱：的場正剛)
- ワグナー：『ワルキューレ』より「ワルキューレの騎行」



オペラの音楽って?
~名曲もピックアップ!~

歌劇『蝶々夫人』より

「ある晴れた日に」

(歌唱：基村昌代)

屈指のメロディーメーカーであるイタリアの作曲家プッチーニの作品。日本の長崎を舞台とした物語で、世界中で上演される人気作品です。

「ある晴れた日に」はアメリカに帰ってしまった夫ピンカートンのことを想い待つ蝶々さんのひたすら純粋な気持ちが歌われる美しい曲です。



歌劇『トゥーランドット』より

「誰も寝てはならぬ」

(歌唱：二塚直紀)

同じくプッチーニの作品で、中国を舞台としたオペラです。トリノ五輪金メダリスト荒川静香選手が演技曲に使用したことで注目を集めました。王子のカラフが勝利を信じて力強く歌う、テノールの名アリアです。



歌劇『カルメン』より

「闘牛士の歌」

(歌唱：的場正剛)

スペイン・セヴィリアを舞台とした情熱的なオペラ『カルメン』。闘牛士はスペインでは大スターといえる花形職です。その闘牛士であるエスカミーリョが酒場で歌うこの曲は文句なしにかっこいい曲です。



『ワルキューレ』より

「ワルキューレの騎行」

巨大な作品ばかりを書いたことで知られるワグナー。『ワルキューレ』は全編を上演すると16時間かかる「ニーベルングの指環」の作品の一部にあたり、その勇壮な音楽は映画「地獄の黙示録」で使用されました。日本でのワグナー作品の第一人者ともいえる飯守泰次郎の指揮で贈る大迫力の「ワルキューレの騎行」は必聴です!



Voiceボイス

終演後に直撃取材! 感想をお聞きました。 「野村万作・野村萬斎狂言公演」

Q.狂言の公演はいかがでしたか?



「狂言は初めてでしたが、冒頭に説明があり、わかりやすかったです。今でいう新喜劇のようで楽しかったです。リアクションが大きく、笑ってしまいました(合田有希さん・写真左)「面白かった。『小傘』で最後にわか坊主が逃げていくところは、頼んだ人がかわいそうだと思いました。僕も学校で狂言をやります(合田真さん・同右)」



「学校で狂言を習っていて、プロの方の狂言が見られてよかったです(半田美奈さん・写真左)「小傘の最後のお経が面白かったです(松下笑花さん・同左から2番目)「昔の言葉なので意味がわかりにくいところがありましたが、くさや表情でわかって楽しめるのが狂言の魅力だなと思いました(久美衣子さん・同左から3番目)「野村裕基さんが若いのに声が通っていて聞きやすかったです。私も出来たらいいなと思いました(吉田万亜琉さん・同右)」



2018年11月びわ湖ホール公演より

びわ湖ホール 名曲コンサート

一流の演奏を気軽に楽しめるシリーズ

一流の音楽家の演奏でクラシック音楽史上に残る名曲を、気軽に楽しめる低価格でお届けするシリーズ。「クラシックのコンサートに行きたいけれど、何を聞けばいいかわからない」という方に自信を持っておすすめする質の高い公演をお贈りします。

神尾真由子 ヴァイオリン・リサイタル



神尾真由子

第13回チャイコフスキー国際コンクールの覇者、神尾真由子。驚異のテクニックと抒情的な演奏で魅了します。今回のプログラムは、傑作と呼ばれる「ヴァイオリン・ソナタ」2曲や、名ヴァイオリニスト、ハイフェッツ編曲の「ポーギーとベス」など、ヴァイオリンの魅力が堪能できる名曲揃い。ミロスラフ・クルティシエフとの息の合った演奏をお聴きください。



ピアノ：ミロスラフ・クルティシエフ

【曲目】

- ドビュッシー：ヴァイオリン・ソナタ
- フランク：ヴァイオリン・ソナタ 長調
- ガーシュウィン (ハイフェッツ編)：「ポーギーとベス」より ほか

2019年1月14日(月・祝)
14:00開演 [大ホール]

S席3,000円(2,500円) A席2,000円 青少年(25歳未満)1,000円
シアターメイツ500円 ※()内は友の会会員料金



華麗なるオーケストラの世界 vol.1

チャイコフスキー作曲のピアノ協奏曲第1番は久末航が難関のミュンヘン国際音楽コンクール・ピアノ部門で賞を獲得した記念碑的作品です。滋賀県出身の新進気鋭のピアニスト久末と阪率いる日本センチュリー交響楽団との熱い掛け合いをお楽しみください。



日本センチュリー交響楽団

指揮：阪 哲朗

指揮者の登竜門であるプザンソン国際指揮者コンクール優勝以来、欧米で約40に及ぶオーケストラ、歌劇場に招かれ成功を収めている阪 哲朗。その手腕で日本センチュリー交響楽団と濃密な音楽を創り上げます。



指揮：阪 哲朗



ピアノ：久末 航

ピアノ：久末 航

滋賀県大津市出身の24歳。名門フライブルク音楽大学を経て、現在ベルリン芸術大学大学院に在籍。2017年に第66回ミュンヘン国際音楽コンクール・ピアノ部門第3位および特別賞を受賞した若手最注目ピアニスト。

【曲目】

- グリーク：「ペール・ギュント」第1組曲
- チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番
- ドヴォルジャーク：交響曲 第8番

2019年2月10日(日)
15:00開演 [大ホール]

指揮：阪 哲朗 ピアノ：久末 航 管弦楽：日本センチュリー交響楽団
S席4,000円(3,500円) A席3,000円(2,500円) B席2,000円 C席1,000円
青少年(25歳未満)S~B席1,500円 シアターメイツS~B席:750円
※()内は友の会会員料金

シアターメイツ会員は
お得に楽しめます。
詳しくは9ページへ



幻想的な生演奏とともに光源氏最愛の女性の物語を

紺野美沙子の朗読座

「源氏物語の語りを楽しむ一紫のゆかりの物語」



二十五絃箏やパーカッションの生演奏、時代ごとに描かれた錦絵の映像とともに贈る朗読公演。「源氏物語」のなかでも光源氏の最愛の女性、紫の上に焦点を絞り、「紫のゆかりの物語」としてお届けします。第一部のトークセッションでは、紺野が「お話が上手で面白い先生」と太鼓判を押す陣野英則を迎え、作品の見どころを掘り下げます。

2019年1月5日(土)
14:30開演 [中ホール]

朗読とおはなし：紺野美沙子
演奏：中井智弥(二十五絃箏)、相川 瞳(パーカッション)
S席3,000円 A席2,000円
青少年(25歳未満)1,000円

- 第一部 トークセッション
~「紫のゆかりの物語」をより楽しむために
ゲスト：陣野英則(早稲田大学教授)
- 第二部 朗読「紫のゆかりの物語」
~「若紫」「葵」「須磨」「松風」「若菜上」
「御法」「幻」各帖より

TOPICS

紺野美沙子さんに 公演の魅力 伺いました



源氏物語は光源氏の恋の遍歴という印象が強くて、嫌だわ!とっていました(笑)。今回改めて拝読し、実は壮大な物語だったんだと驚きました。愛と裏返しの罪、人間の愚かさや弱さなどが千年を超えても色褪せずに描かれています。千年前の宮廷に仕える女房が語りかけるような形で、お客様に伝えたいと思います。そこに生の演奏が加わることでレベルアップ!みたいな。その情景が浮かび、朗読の世界がより広がっていきます。コンセプトは「誰も眠くらぬ」(笑)。いろいろと工夫して楽しんでいただきます。

2019年も開催決定!



近江の春 びわ湖クラシック音楽祭2019

びわ湖ホールならではの音楽祭! 開催に向けて準備が進んでいます

びわ湖ホール芸術監督の沼尻竜典がプロデュースするクラシック音楽の祭典。厳選した一流アーティストやオーケストラの競演がびわ湖ホール3つのホールやメインロビーなどで気軽に楽しめるほか、湖畔会場でのパフォーマンスなど、びわ湖ホールならではの楽しさ・見どころが満載です。公演の詳細やチケット発売日等はホームページで順次ご案内します。

期間 2019年 4月27日(土)・28日(日)

場所 びわ湖ホール全館・ピアザ淡海 ほか

<https://festival.biwako-hall.or.jp/>



琵琶湖



【出演】
沼尻竜典、大植英次、マティアス・ユング(以上指揮)
京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、
京都フィルハーモニー室内合奏団、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団
コンスタンチン・リフシツ、館野 泉、仲道郁代、金子三勇士、河原忠之、
小柳美奈子、中野翔太、坂野伊都子、園田奈緒子(以上ピアノ)
渡辺玲子(ヴァイオリン)、ユリアン・シュテツケル、佐藤晴真(以上チェロ)
吉野直子(ハープ)、須川展也(サクソフォン)、
原田 節(オンドマルトノ)、三浦一馬(バドネオン)、
奏トリオく小川響子(ヴァイオリン)・伊東 裕(チェロ)・秋元孝介(ピアノ)
幸田浩子、砂川涼子、中村恵理、石橋栄実、中島郁子、福井 敬、
晴 雅彦、大西宇宙(以上声楽)
ザクセン声楽アンサンブル
びわ湖ホール声楽アンサンブル、びわ湖ホール四大テノール
京都橋高等学校吹奏楽部、明浄学院高等学校吹奏楽部 ほか



ピアザ淡海(ピアザホール)



湖畔には飲食ブースがスタンバイ。音楽祭限定のメニューやスイーツ、滋賀県の特産品など、さまざまなお店が出店予定。聴きたいコンサートと休憩タイムを組み合わせて、一日中お楽しみください。



中ホール
コンスタンチン・リフシツ(ピアノ)など海外アーティストのほか、ミュンヘン国際音楽コンクールで1位に輝いた注目の新星・奏トリオ、高校生による圧巻の書道パフォーマンスなど多種多様な公演を。



大ホール
迫力ある大編成のオーケストラやオペラ、高校生たちによるマーチングを開催。オープニングは、音楽祭のテーマ「神よ、平和を与えたまえ」(ヴェルディ「運命の力」より)を中村恵理が独唱で。



ピアザ淡海
びわ湖ホールの隣、ピアザ淡海も会場のひとつ。0歳児から鑑賞できるコンサートには京都フィルハーモニー室内合奏団が出演。音楽祭のワークショップなど親子で楽しめるプログラムが盛りだくさん!

BIWAKO HALL Information

びわ湖ホールインフォメーション

「びわ湖ホール友の会」 会員募集中

一般会員

チケットの優先・優待販売や無料郵送、公演情報のご案内、館内レストランサービス、提携ホテルの利用割引などの特典・サービスをご提供いたします。

【一般会員】
年会費2,500円(税込)
【クレジット一般会員】
年会費2,379円
(クレジットカード年会費1,350円含・税込)

<お問い合わせ> びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136



特別会員

びわ湖ホールの舞台芸術に関する事業に賛同し、これを支援していただける企業・個人様向けの会員制度です。

□主催公演へのご招待 □チケット優先予約・無料郵送 □ゲネプロへご招待
□情報誌やホームページへの会員名掲載 □メインロビーへの会員名掲示
□びわ湖大花火大会観覧ご招待 など
年費 一口につき100,000円(税込) 入会金不要

<お問い合わせ> びわ湖ホール広報マーケティング部 TEL.077-523-7140

アマノマネジメントサービス株式会社/綾羽株式会社/新木産業株式会社/一圓テクノ株式会社/いなみ矯正歯科/上原恵美/エアスペン株式会社/株式会社栄光社/エールコーポレーション株式会社/SMBC日興証券株式会社大津支店/NTT西日本 滋賀支店/近江精工株式会社/大谷 蔵公認会計士事務所/大塚産業ソーイング株式会社/大津商工会議所/おかもと眼科クリニック/株式会社奥田工務店/オペテックスグループ株式会社/オムロン株式会社/オリックス・ファシリティーズ株式会社滋賀支店/株式会社関西アーバン銀行/株式会社木の家専門店 谷口工務店/木村水産株式会社/株式会社京都銀行/京都信用金庫滋賀本部/京都橋大学/京都中央信用金庫/株式会社京都西川/株式会社きんぎょ/滋賀支店/株式会社キントー/草津電機株式会社/京滋舞台芸術事業協同組合/京阪ホテルズ&リゾート株式会社 琵琶湖ホテル/甲賀高分子株式会社/株式会社コングレ/株式会社笹川組/さなみ法律事務所/株式会社佐藤総合計画関西事務所/三精テクノロジーズ株式会社/株式会社三東工業社/株式会社しがらみ経済文化センター/株式会社滋賀銀行/滋賀近交運輸倉庫株式会社/滋賀県信用金庫協会/滋賀トヨペット株式会社レクス大津/株式会社滋賀富士通ソフトウェア/滋賀ヤサカ自動車株式会社/株式会社自然総研/株式会社JEU G I A /公益財団法人秀明文化財団/株式会社昭和バルブ製作所/株式会社スマイ印刷/学校法人純真学園/成安造形大学/瀬田医院/総合警備保障株式会社滋賀支店/株式会社そごう・西武 西武大津店/ダイハツ工業株式会社滋賀(竜王)工場/株式会社ダイワック滋賀事業所/ダイワレックス株式会社/大和証券株式会社京都支店/高坂剛/高坂哲夫/高坂学人/タカヒサ不動産株式会社/株式会社田中家石材/ちばしレディースクリニック/株式会社DGコミュニケーションズ/thymos/株式会社天下一品/東京海上日動火災保険株式会社滋賀支店/東和警備保障株式会社/株式会社ナカザワ/日新薬品工業株式会社/株式会社ニッセイコム/日本観光開発株式会社/日本生命保険相互会社/日本ソフト開発株式会社/日本メンテナンス株式会社/日本メンテナンス株式会社大津支店/のぞみクリニック/野村證券株式会社大津支店/ババークリエイト株式会社/長谷川公認会計士事務所/パナソニックESエンジニアリング株式会社近畿支店/公益財団法人八幡文化振興財団/株式会社日立建機ティエラ/株式会社ビルディング・コンサルタントワイス/びわ湖大津プリンスホテル/琵琶湖汽船株式会社/びわこ成蹊スポーツ大学/びわ湖放送株式会社/兵神警備株式会社滋賀事業所/ホテルテラ大津/ホテルピアザびわ湖/ホテルブルーレーク大津/株式会社松村電機製作所関西支店/豆藤/株式会社みずほ銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社/南草津野村病院/宮川印刷株式会社/株式会社村田製作所野洲事業所/山科精密株式会社/ヤマハサウンドシステム株式会社大阪営業所/ヤママ株式会社/横田昌和公認会計士事務所/立命館山守中学校/高等学校/龍谷大学吹奏楽部/ロマン楽器株式会社/株式会社ワコール

サポート会員

一般会員のサービスに加え、主催公演へのご招待やオペラ公演のゲネプロにご招待など、お得にお楽しみいただけます。

年会費 一口につき10,000円(税込)

<お問い合わせ> びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136

シアターメイツ会員募集中

シアターメイツは子どもたちに気軽に舞台芸術を楽しんでいただく会員制度です。びわ湖ホールでは感性を豊かにする質の高い公演をたくさんご用意しています。舞台芸術を“生”で観て、聴いて、心を育む体験をぜひ!

- 特典1 シアターメイツ優待公演は青少年チケット料金の半額
- 特典2 シアターメイツ限定イベントへの参加
- 特典3 劇場を楽しむためのオリジナルブックプレゼント

さらに びわ湖ホール主催公演にご来場でスタンプ1つ! スタンプを5つ集めるとスペシャルプレゼント

<ご入会方法など詳しくはホームページをご覧ください。>



びわ湖ホール 舞台芸術基金

~舞台芸術へのご寄付をお待ちしています~

皆さまから頂戴したご寄付は、基金として大切にお預かりし、3種類の事業に活用してまいります。(ご寄付の際にお選びいただけます)

1. びわ湖ホール声楽アンサンブルへのご支援
2. 「次世代育成事業」へのご支援
3. 「舞台芸術全般」へのご支援

■インターネットでお申込み&クレジットカードによる決済で簡単に
お手続きいただけます。 <https://www.biwako-hall.or.jp>
■金融機関からもお振込みいただけます。

<お問い合わせ> びわ湖ホール広報マーケティング部 TEL.077-523-7140

お知らせ 2019年度のびわ湖ホール一部利用休止について

びわ湖ホールは1998年の開館から本年で20周年を迎えました。来々2019年は舞台機構の制御改修工事を予定しており、下記のとおり一部利用休止させていただきますこととなりました。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

- 休止施設 大ホール・中ホール(ただし、ホワイエはご利用いただけます)
- 休止期間 2019年8月19日(月)~2019年12月20日(金)
- 休止しない施設 小ホール・リハーサル室・練習室1~3・研修室・メインロビー

※なお、ホール事務室、チケットセンターは通常どおり営業いたします。

<お問い合わせ> びわ湖ホール管理部 TEL.077-523-7135

びわ湖ホールを借りるには

びわ湖ホールでは大ホール・中ホール・小ホール・リハーサル室・練習室・研修室の貸館を行っております。音楽、演劇、舞踊など舞台芸術の公演や練習、各種大会等にご活用ください。施設利用のお申し込み方法、ご利用料金、ホールの空き状況など詳しくはお問い合わせください。



TOPICS 2019年度ラインアップ発表

11月26日(月)に自主事業ラインアップ発表を行いました。芸術監督の沼尻竜典は「オペラを中心にバレエや伝統芸能など、いろいろなスペースの効いた公演を揃えます。びわ湖ホールらしさが出ていくと思います」と話し、それぞれの事業を説明しました。ラインアップ一覧はびわ湖ホールホームページにてご確認ください。
<https://www.biwako-hall.or.jp/>



新国立劇場との連携・協力に関する協定締結

公益財団法人びわ湖芸術文化財団と公益財団法人新国立劇場運営財団は、それぞれが運営する滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールと新国立劇場との連携・協力に関する協定を11月26日(月)に締結しました。今回の協定は、それぞれの劇場等で実施する公演のほか、人材の交流・育成などについて協力関係を築き、連携を深めることで、劇場事業の活性化に資するとともに、地域における実演芸術の普及向上、教育及び文化の振興に寄与すること、ひいてはわが国の芸術文化の振興に貢献することを目指しています。



写真右は、畑中裕良 公益財団法人新国立劇場運営財団総務部長。

リニューアル
紫式部で知られる石山寺。月に見立てたどら焼きに古よりの想いをはせて。
新品
秋後の多い楽しい年を意味する「楽歳」。
農工ひとが形となったおまんじゅうです。
石山弄月
葉匠 寿庵 寿長生の郷
〒520-2266 滋賀県大津市大石龍門4-2-1 <お問い合わせ> TEL.077-546-3131 <http://www.kanou.com>
びわ湖ホールオフィシャルスポンサー: 株式会社叶匠寿庵

はずむ心のお買物
平和堂
〒522-8511 滋賀県彦根市西今町1番地
TEL (0749) 23-3111 FAX (0749) 23-3118
URL <http://www.heiwado.jp/>
びわ湖ホールオフィシャルスポンサー: 株式会社平和堂

※「えいじやに」は、Art journeyからネーミングしました。気軽にArtの旅を楽しんでください。

地域の方々が多様な古典芸能に親しんでいただけるよう、平成23年より文化産業交流会館内に復活した芝居小屋「長栄座」。平成最後の新春公演となる「至芸～相伝の美学～」には、日本舞踊上方舞の山村流六世宗家・山村友五郎さんが出演されます。そこで日本舞踊への思いと、舞台への意気込みを語っていただきました。

異なる個性を放つ息子たちが 山村流をけん引する

山村流六世宗家・三代目 山村 友五郎さん

“流儀を継いだ”のではなく“預かっている”

私が、祖母の名跡“若”の名前と六世宗家を襲名したのは、平成4年のことです。その折、早世していた母・糸に五世宗家を追贈し、20代で継承して以来、宗家を務めてきました。平成26年には、長男・侑に祖母より預かった名跡“若”の名を譲り、友五郎を三代目として襲名しました。山村流は江戸時代、歌舞伎の振付師だった初代・山村友五郎を流祖として発展してきました。二世までは男性が宗家でしたが、三世から五世は女性が受け継いでいます。この間、100年余りにわたって女

性から見た女性の美しさを表現し、女舞の流儀とも呼ばれた歴史が山村流の財産でもあります。

男の私が宗家を継いだ時、心の拠り所となったのは流祖が男性であったということでした。山村流は、例えると、かな文字のようにしなやかに流れる舞が特徴です。水のような柔らかさがありながら、止めなどメリハリのある強さも併せ持っています。先代たちが培ってきた女性目線に加えて、原点に立ち返り、男性の視点から見た女性のさまざまな魅力について表現できればと考えています。

個性が違う次世代の存在が山村流の強みに

相伝についてよく言われるのは“流儀を継ぐ”ということですが、私は“預かっている”と思っています。歌舞伎の流れを汲んだ初代・友五郎の表現法と、上方で発展した座敷舞という2つの要素を含めた独自の流儀を、どのように次へとつなげていくか。一曲でも多く曲を増やし、一人でも多くの門人を増やし、自分が流儀を預かった時より良い状態で次代へ継承していきたいです。

今後は長男の若が継承していくことになりませんが、跡目を受け継ぐには単に責任感だけではなく、舞が

好きでなければ無理なことだと思います。若には幼い頃からそうした事への覚悟ができていたように感じています。一方、次男の侑は、柔軟な感覚を持っています。例えば、その日のお客さまの雰囲気に合わせて振る舞いができる。場に乗っかるといいますか、舞台人としての感性が豊かなのだと思います。同じように二人に教えていますが、それぞれの個性が際立っていますので、舞に対するアプローチも異なります。そんな二人が舞台にいることがまた流儀の強みにもなっていくのだと期待しています。



Profile /山村 友五郎(やまむら ともごろう)

祖母・四世宗家・若や母・糸のもと幼少より修業する。早世した母に五世宗家を追贈し平成4年、六世宗家山村若を襲名する。

山村流は、文化・文政に三代目中村歌右衛門の振付師として歌右衛門と共に今日の上方歌舞伎の礎を創ったとされる山村友五郎を流祖とする。

平成26年、約120年ぶりに友五郎の名跡を復活し三代目・山村友五郎を襲名。同年9月、3日間に亘り襲名披露舞扇会を開催し、その成果により日本芸術院賞を受賞。女性らしい舞と評され今日では、山村の主流とされる座敷舞(地歌舞)と初世より伝えられる上方歌舞伎舞踊の2つの流れを大切に、伝統の維持継承に力を注ぐ。

歌舞伎、文楽、宝塚歌劇の振付・舞踊指導・門下育成に従事する。

平成30年10月28日大槻能楽堂において友五郎襲名より初めてとなるリサイタル「第一回 友五郎の会」を開催。

三人立ちでの「竹生島」は、山村流の新たな財産

私は大阪の出身で、どこかに帰省するという経験がありませんでした。家内の田舎が湖西地方にある北小松です。滋賀に故郷ができたように思っています。景色をはじめ、食べ物も好きです。郷土料理のひとつ、鮎寿司も好物のひとつとなっています。

新春公演の演目であり舞台となる「竹生島」は、滋賀の皆さまにとってよくご存じの場所だと思います。“ああ、こんな景色だったな”と、共感しながらお楽しみいただけたら嬉しいです。本来は一人立ちで舞うのですが、本公演では、私と若、侑の山村流の三人立ちで舞うように演出したもので、親子共演は初公開です。役どころとしては、弁財天

を山村友五郎、宮人を山村若、後に龍神となる船頭を山村侑が勤めます。謡曲からの題材ですが、長唄にアレンジしていますので、より親しみやすく鑑賞していただけることと思います。

同名の演目である地歌「竹生島」は五世である母が最後に舞った演目でもあり、私にとっても思い入れが強い作品ですので、これも流儀に伝わる振付は一人立ちですが、一昨年「長栄座」出演のため、二人立ちの作品に振付けし、長男・若と舞わせて頂きました。今回の公演がまた、山村流の新たな財産になる事を願っております。



地歌舞「竹生島」

「至芸」～相伝の美学～

日時 2019年1月19日(土) 14:30開演
会場 イベントホール内特設舞台「長栄座」
入場料 一般3,000円 25歳以下2,000円 [全席自由] ※当日各500円増

演目/出演 **第1部** 地歌「竹生島」 井上 安寿子
長唄「狸々」 若柳 吉蔵 若柳 亮太
長唄「二人挽久」 若柳 壽延 若柳 佑輝子
第2部 地歌「水鏡」 井上 八千代
長唄「竹生島」 山村 友五郎 山村 若 山村 侑

長栄座とは……

明治時代、長浜市に建てられた芝居小屋「長栄座」を、平成23年度から文化産業交流会館イベントホール内に期間限定の特設舞台として再現し、古典芸能に親しむ環境づくりに努めています。

文化産業交流会館 イベント情報

湖国にて ～歌と和楽器の出逢いの刻～

邦楽演奏家と声楽家が共演。新春らしい邦楽曲から水源の里米原をテーマにした新作組曲まで幅広い演目を映像とともに披露します。

日時 2019年1月20日(日) 14:00開演 会場 イベントホール内特設舞台「長栄座」
演目 [第1部] 日本民謡による組曲(牧野由多可 作曲)
余呉湖の羽衣伝説(三田村 正子 脚本、池上 眞吾 作曲)ほか
[第2部] 新作邦楽組曲「米原」
醒井宿～柏原宿～泉神社～伊吹山と三島池(池上 眞吾 作曲)ほか
出演 横山 政美 加藤 万吏乃 福嶋 勲 池上 眞吾 平野 裕子 池上 亜佐佳 吉澤 延隆
日吉 章吾 田嶋 謙一 大河内 淳矢 富田 慎平
客演 野村 幹人 田原 嶺山 ゲスト 野村 祐子 片岡 リサ
入場料 一般2,500円 25歳以下1,500円 [全席自由] ※当日各500円増



平成29年「網の里から」

フィールドアートMedia Mix 2019

文化産業交流会館が贈るマーチングバンドの祭典。今回は京都橘高等学校が初出演!各団体によるエネルギッシュなパフォーマンスをお楽しみください!

日時 2019年1月27日(日)14:00開演 会場 イベントホール
出演 滋賀学園中学校・高等学校 近江高等学校 京都光華高等学校 京都橘高等学校
京都明德高等学校 JOKERS Drum & Bugle Corps
Legend of ANGELS Drum & Bugle Corps ほか
入場料 1階席 一般 2,000円 18歳以下 1,500円 2階席 一般 1,000円 18歳以下 800円
[全席指定] ※当日各500円増



京都橘高等学校 吹奏楽部

COLUMN

ニットキャップシアター ごまのはえ 本番を前にして

いよいよ12月、滋賀県立文化産業交流会館で行われる「教室くん」の本番も近づいてきた。とはいえこのコラムを書いているのは10月末、稽古場では連日役者さんたちがセリフと格闘している。よく素人の役者さんに「どうすればセリフを憶えられるのか?」質問されることがある。残念ながら特効薬はない。特効薬はないが、麻薬はある。それは「脅し」という麻薬である。残念ながら脅されると人はがんばる、のんびり構えてた役者さんも本番が近づくと慌ててセリフ憶えをがんばる、苦い光景だ。脅されてがんばる人は、脅されないとがんばらない人になる、そういう人が増えると脅す側も巧妙になり、脅すという行為にあるネガティブ部分を巧みに隠し、相手の自主性を尊重しつつ一体感を持って、さも励ますようなふりをして脅すのだ。そういう人もいるし、そういう人を必要にする人も、いる。悲しい。



音楽劇「教室くん」

作・演出 ごまのはえ

日時 12月22日(土) 15:00開演
12月23日(日) 14:00開演
会場 小劇場
入場料 一般 1,000円
25歳以下 500円
[全席自由]
※当日各500円増

地域創造部 イベント情報

光と照明による能舞台の陰翳

安達原 ADACHIGAHARA

山本能楽堂(山本 章弘)と
藤本 隆行 [Kinsei R&D] (舞台照明)
による、更に美しくなった能の新しい
世界をお楽しみください。

日時 2019年2月2日(土) 13:30開演
会場 大津市伝統芸能会館
入場料 一般4,000円 青少年(24歳以下)3,000円 [全席指定] ※当日各500円増



第37回 滋賀県ピアノコンクール 本選

厳しい予選を通過した50名(予定)が本選に臨みます。未来の湖国を担うピアニストたちの演奏をお楽しみください。

日時 2019年2月17日(日)10:00開演(予定)
会場 野洲文化ホール 大ホール
入場料 入場無料
招待演奏 久末 航(第25回滋賀県ピアノコンクール小学校高学年部門
第1位・その他詳しいプロフィールはP7を参照ください。)

湖国新進アーティストによる演奏会

ザ・ファーストリサイタル2019

オーディションで選ばれた、滋賀県出身の声楽家とピアニストによるデビューリサイタル。

日時 2019年3月23日(土)14:00開演 会場 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 小ホール
入場料 一般1,000円 18歳以下500円 [全席自由] ※当日各500円増
出演 中西 恵子(ソプラノ) 竹内 望未(ピアノ)



中西 恵子 竹内 望未

劇場・舞台芸術の力

2017年度よりびわ湖芸術文化財団は、びわ湖ホールと文化産業交流会館の2つの劇場を持つ財団として新たに活動を始めました。これを機にスタートしたこのコーナー。劇場に関わるさまざまな方に想いを綴っていただきます。

公益財団法人ニッセイ文化振興財団
理事長 **武田 嘉和**

びわ湖ホール・日生劇場提携オペラ公演として、本年10月に日生劇場が制作したオペラ『魔笛』を、びわ湖ホールで上演いただきました。びわ湖ホール芸術監督・沼尻竜典さんの指揮、新進気鋭の演出家・佐藤美晴さんの演出による公演は、お陰様で大盛況のうちに幕を閉じました。沼尻さんは約30年前に日生劇場の『魔笛』で副指揮者として参加されたのがご自身のオペラ指揮者としてのキャリアの始まりだったそうです。今回、同じ日生劇場で『魔笛』を指揮されたことを、感慨深げにお話されていました。

また、上記公演に先立って、青少年の豊かな情操を育むために「ニッセイ名作シリーズ」として展開している中・高校生無料招待公演も、昨年に続いてびわ湖ホールで上演されました。県内の高校生約1100名が『魔笛』を観劇する様子が地元テレビ局のニュース

で取り上げられるなど、大きな話題となりました。

日生劇場では近年、各地の劇場等との連携強化に努めており、びわ湖ホールとは、一昨年には『ドン・パスクワレ』、昨年は『ノルマ』を藤原歌劇団他と共同制作し、いずれも関係各位から高い評価を頂戴いたしました。

びわ湖ホールは沼尻竜典芸術監督のもと「優れた舞台芸術の提供」、「次世代の音楽家、舞台技術者の育成」という理念を掲げ活動を続けておられます。それは日生劇場が開館以来55年間にわたって掲げてきた理念そのものであります。同じ理想を掲げる東西の2つの劇場が、これからも協力関係を深め、我が国の舞台芸術の振興、発展に貢献できることを願っております。



『魔笛』(2018年10月びわ湖ホール公演)より

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号
TEL.077-523-7133 FAX.077-523-7147
https://www.biwako-hall.or.jp/

チケットInformation



インターネット予約 <https://www.biwako-hall.or.jp/>

携帯電話、スマートフォン(iPhone標準ブラウザ、Android標準ブラウザ)からもチケットをご購入いただけます。詳しい推奨環境に関する表示は<http://www2.biwako-hall.or.jp/mobile/env.html>に記載しております。携帯電話、スマートフォンの方はhttps://www2.biwako-hall.or.jp/eticket_mobile/をご利用ください。※パソコンにて登録されたユーザーID、パスワードはそのままお使いいただけます。



電話予約 チケットセンター
TEL.077(523)7136



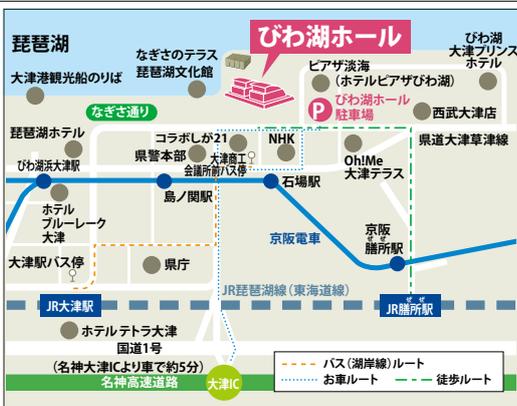
窓口販売
2階チケットセンター

10:00~19:00/火曜休館 ※休日の場合は翌日。12月30日・1月1日~3日は休館。ただし、チケットセンターは12月29日 10:00~17:00営業、12月30日 電話受付のみ、12月31日 12:00~23:00営業、1月22日~24日、28日~2月1日は設備改修のため休館。ただしチケットセンターは1月23日・24日・28日・30日・31日 電話受付のみ営業。ネットチケットは休館中もご利用いただけます。

※チケット料金は消費税込の価格を表示。*()内は友の会会員料金。※一部公演を除き全席指定。
※一部公演を除き6歳未満のお子様はご入場になれません。

【青少年割引当日券の販売】 青少年割引当日券がある公演は、公演当日に残席がある場合に限り、青少年(25歳未満)の方に、半額で当日券を発売いたします。SS~E席のみ。U30・U24席は除く。※劇場窓口のみ取扱い。学生証など年齢のわかるものをご提示ください。

【シアターメイツ優待公演】 シアターメイツチケットはびわ湖ホールチケットセンターのみの取扱い(電話・窓口のみ)。



《アクセス》

大阪から新快速で約40分、京都から約10分 名古屋から新幹線/京都駅のりかえで約60分

●JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分、またはバス「湖岸線」約5分(大津商工会議所前下車、徒歩約4分)

●JR琵琶湖線(東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分、または京阪電車のりかえ「石場」駅より徒歩約3分

《駐車場のご案内》有料 849台 24時間営業 料金: 7:00~23:00 1時間毎210円(4時間経過後1時間毎110円) 23:00~7:00 1時間毎110円(時間内最大料金420円)

滋賀県立文化産業交流会館

Shiga Theatre for Cultural and Industrial Development
〒521-0016 滋賀県米原市下多良2-137
TEL.0749-52-5111 FAX.0749-52-5119

<https://www.s-bunsan.jp/>

チケットInformation



インターネット予約 <https://www.s-bunsan.jp/ticket>

パソコン・スマートフォン・携帯電話から24時間いつでも座席を選択してチケット予約・購入ができます。お支払いは、クレジットカードのご利用のほか、全国のセブンイレブンでのお支払い・チケットの受け取りも可能です。(一部公演、席種を除く)



【利用方法】①会員登録(無料) ②チケット予約・購入 ③チケットの受取(会館窓口 or セブンイレブン)
※ご利用には、会員登録(無料)が必要です。

※お支払い、チケットの受取方法をお選びいただき、期日までにお手続きください。お支払い、チケットの受取方法により、代金の他に手数料がかかります。



電話予約、窓口販売 直接、下記までお問い合わせください。

滋賀県立文化産業交流会館 TEL.0749(52)5111

※月曜休館。月曜日が休日の場合はその翌日以降の休日でない日。年末年始(12月29日~1月3日)



《アクセス》

(電車でお越しの方)

JR新幹線・琵琶湖線・東海道本線・北陸本線 米原駅西口より徒歩7分

(お車でのご越しの方)

北陸自動車道米原インターより約10分 または 名神高速道路彦根インターより約15分

《駐車場のご案内》360台(無料)